

●カスミサンショウウオ成体を発見 22日

2007年にカスミサンショウウオの卵囊を発見。その後10年間、毎年2月と3月の産卵期と孵化期を狙って調査を繰り返しましたが、カスミサンショウウオとの出会いはなく、空振りが続きました。2016年3月に場所を変えて調査の結果、10年ぶりに卵囊を発見、それも二ヶ所での事でした。2017年度は何が何でも、成体を見つけるぞ、と決意を新たに新年を迎えました。両生類を研究する若手レンジャーの福山伊吹君が1月8日に下見を行いましょと積極的な提案で下見調査を実施、残念ながら8日は見つけれませんでした。そろそろ産卵するメスや待ち構えるオスは溜まりに集まってきているはずだからと次回の観察会を22日と決定しました。

22日10時に中川さんと、その友人の川添さん、グループレンジャーの福山・北野・中栄・小林君、里山の会の金田・播川・山村が集結。挨拶もそこそこに、現地に移動、はやる心を抑えて小道を進む、生育湿地に到着。分散して枯葉や落ち枝などをめくる、中川さんの友人川添さんは全国各地のそれらしき場所を踏破されている素晴らしい専門家だと紹介を受ける。今日は、すごい味方が支援に駆けつけていただいた。川添さんは全国各地を検索しながら調査観察を続けておられ、自宅に戻るの年間30日弱という現場第一の研究者で著書も数多く発行されておられるとのこと。今日はきっと見つけれられる素晴らしい場所だと太鼓判を押していただきました。開始から数分間で福山君が見つけたと声上がる。彼の手袋の上に泥にまみれたカスミサンショウウオがあった。泥を洗い落としても体色は真っ黒にちかい色でした。これまで図鑑の写真では茶色でしたが、黒でした。川添さんによるとその地域で体色は様々だという解説があって納得。水たまりは卵囊を発見した昨年との状況と大きな変化はありません。水深5cm、水温2℃、水流は止まっているようで少し流れているようです。金田さんの測定を確認。発見時刻は10時30分でした。各自が撮影、日差しがなく撮影に苦労する。携帯電話のつながる場所に移動し各新聞社に電話するが対応に出るところはなく、現地への取材をあきらめる。連絡している間にも何か大きな声が聞こえてくる。二番目の発見ではないかと雰囲気伝わってくる。現場に戻り真剣に調査している皆に各新聞社への連絡状況を伝える。間髪を置かず、播川さんが中栄君が二匹目を見つけた、と声を弾ませてくれる。金田さんが持ってきてくれた紙皿にさしだしてくれた。二匹目は体長は変わらず同じくらいの大きさである。しかし体色は薄茶色で真っ黒ではなかった。おなかのあたりはほっそりしている。これはオスのようです。一番目の黒はおなかあたりが首や肩あたりよりも前足と後ろ足の胴体部分がかかなり太くなっている。これは雌だろうと判断した。二匹目の発見時間は10時40分であった。場所は上中下三つの溜まり池の下の池の水辺から少し陸上部に上がったところの枯葉の下でした。最初の発見場所も中の水たまりの水辺から80cm程離れて湿り気がしっかりあるところでした。

その後約1時間、9人が限なく調査をしましたが、三匹目の発見はできませんでした。11時40分に調査を終了、めいめいが感想を述べ合って次の日程に向かって散会としました。

京田辺市で卵囊を発見した10年前、非常な興奮を覚えました。今回も同様な感激を得ることができました。それぞれは、この発見に同席出来て大変うれしいということでした。早朝から寒さ厳しく、雨が降る中ご参集いただきました皆様ご苦労様でした。集まってくることが無かったら、大発見は不可能であったかもしれません。9人のチームが力を合わせたので、大きな成果を手にすることができました。何よりも1月8日の下調べを提案してくれた福山君の積極性と提案があって成し遂げられました。若い研究者の熱意が大きな成果に結びつけられ、私たち里山の会の10年間の努力が結実できました。

この発見を機に、地主さんとの連絡も取れ、保存へのご理解もいただき、成果をともに喜んでいただきました。関係官庁や専門家の方々の助言を受けて、絶滅寸前種カスミサンショウウオの保全に努力していかなければならないと責任を痛感しています。多くの皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

●木津川沿川活動団体交流会 22日 40人の出席

定刻に開始され、淀川環境委員会の河典彦先生から講演「木津川の生き物の現状と課題」が行われました。引き続き木津川出張所の堂下所長から「水辺の国勢調査から見る木津川の魚の変化と竹蛇籠設置の成果」について報告行われました。続いて川で遊ぶ「川がき」「川の学校」の子どもたちから木津川で学んだ発表があり、質疑応答などが行われました。

そして里山の会から22日発見したカスミサンショウウオの写真発表がされました。

●マラソン大会会場暖房係 薪を運搬 会場整備

23日は7人の皆さんが集まっていたいただき17日に竹切りをした後始末の焼却処分が進めていただきました。また、会場暖房の薪の運び込みも取り組んでいただきました。最近の稀にみる寒波の襲来で大雪が降って、木津川マラソンは数回好天気に恵まれてきましたが、今年はこの悪天候に巡り合わせが予想されます。この時に威力が発揮されるのが暖房係の出番となります。焚き火の威力が発揮されるのです。備えあれば患いなし、10月から木切れを集めて回り、これまで通りの量に到達できています。ご苦労様でした。焚き木を購入すると一束800円(灯油:100)の値段だそうです。換算してみると50束は優に超えています。収集日や運搬経費などを計算すると相当な金額になります。1月4日から運び込みを行っていただきました。ご苦労様です。きっと文字通り暖かいもてなしにお礼が寄せられるのではないのでしょうか。

●第34回京都木津川マラソン大会の里山の会に関連する取り組み日程をお知らせします。

27日(金) 10時~12時 草内倉庫の備品運び出し 備品確認 13時 駐車場看板確認 不足分作成
大看板杭打 枠組立

13時 草内倉庫前 駐車係スタッフのリハーサル 14時30分まで

28日(土) 10:00 土砂運搬 コース修理 残土の処分 里山農園

30日(月) コースの補修 土砂補強

1日(水) 9時30分 事務局会議 13:00 ゲート立て

2日 10時 パソコン 大看板

3日 前日準備 コース点検 茶畑防護 13:00 駐車場看板の組み立てと設置
テントや備品用具の運び出し

5日(日) 7:00 スタッフ集合 打合せ 8:00 受付開始

7:00 選手輸送は近鉄新田辺駅及びJR京田辺駅

9:00 準備体操 9:30 開会式 選手宣誓

10:00 フルマラソンスタート 12:00 表彰式 14:00 フル表彰

15:30~16:00 エイド給水片付け 17:40 日没 19:30 星のランナー最終ランナーゴール

●2月11日 竹送りが実施されます 8時30分京田辺市普賢寺大御堂集合

道中安全祈願の後 9時過ぎに東大寺二月堂を目指して出発 正午過ぎになら東大寺二月堂に到着予定
とのこと 次週に日程お知らせします

●2月12日 木津川クリーン作戦

木津川の12か所のポイントを中心に一斉清掃を展開します。沿川の皆様のご協力をいただくとありがたいです。里山の会は山城大橋東詰めを担当します。これまでは6月に実施してきましたが今年はこの時期に開催となりました。ご参加ください。時間は10時から60分間程度です。

